

ライチョウ保護
スクラムプロジェクト



【絶滅の危機】

高山帯のライチョウはここ50年で半減し、2000年代初頭には約1700羽と推定されました。さらに、地球温暖化の影響による生息環境の縮小等も予測されており、現段階から詳細な調査や保全事業が必要な状況です。

【守ろう、つなごう、ライチョウの未来】

一部の山域では生息数の回復が見られますが、依然として地球温暖化や高山帯へ侵入する動物の影響を受け、絶滅の危険性が高まっています。

絶滅危惧の要因が人間の活動によるものだとしたら、私たちみんなで守っていかなければなりません。

長野県では令和2年度から「ライチョウ保護スクラムプロジェクト」を開始しました。

- ・環境省が主導する「中央アルプスでのライチョウ復活事業」への協力と支援
- ・全国初のライチョウ目撃情報投稿アプリ「ライボス」の開発

中央アルプス：平成30年 1羽 → 令和5年7月 約70羽

- 皆様からのご寄付は、ライチョウの保護増殖のための取組や近年の生息状況が十分に明らかにされていない山域での調査等の保護活動に活用させていただきます。

目標金額 1,300万円 【受付期間 令和6年8月31日まで】

※ 目標金額に達しなかった場合も、集まった金額は本プロジェクトに活用させていただきます。

寄付はこちらから →

県直営『共創型』ふるさと納税受付サイト「ガチなが」
により受け付けています。

※このプロジェクトへの支援(ふるさと納税)に対する返礼品はありません。



ライチョウを救うため
皆様のご寄付を

ふるさと納税で応援する
クラウドファンディング

